

タグリッソ錠について

□ タグリッソ錠 (TAGRISSO tablets)

商品名：タグリッソ錠 40mg, 80mg

成分名：オシメルチニブ メシル酸塩 (Osimertinib Mesilate)



□ タグリッソの内服開始にあたって

タグリッソは、がん細胞を減らしたり、増殖を抑えたりする薬（抗がん剤）です。

今後服用を継続していく上で、この薬で出やすい副作用を理解しておくことは非常に大切です。

薬のことをよく理解し、上手に付き合ってください。

何か異常を感じた際は我慢したり、ご自分の判断で中止したりせず、医師・薬剤師に必ずご相談ください。

□ がん細胞に対するタグリッソのはたらき

がん細胞の表面にはEGFR（イージーエフアール）と呼ばれるたんぱく質が多数あり、これらはがん細胞が増殖するのに必要な信号を細胞内に伝える役割を担っています。それらの信号の伝達を阻止してがん細胞を減らしたり、増殖を抑えたりする薬（“EGFRチロシンキナーゼ阻害薬”という種類の薬）にイレッサ®やタルセバ®, ジオトリフ®などがありますが、EGFRの一部に変異（“T790M”と呼ばれる遺伝子変異）が起きると、それらの薬は効かなくなってしまいます。しかしタグリッソは逆に、そのような変異が起きた場合に有効とされています。また、T790M 遺伝子変異をもともと持っている方にも有効です。タグリッソは変異したEGFRの働きを阻止し、がん細胞の増殖を抑えます。

□ 服用上の注意

- ・ 1日1回、決められた量をコップ一杯の水またはぬるま湯と一緒に服用してください。（医師の指示通り）。
- ・ 飲み忘れた場合、決して2回分を一度に飲まないでください。
- ・ 健康食品として売られているセント・ジョーンズ・ワート（セイヨウオトギリソウ）含有食品と一緒に飲むと、お薬の効果が弱くなる可能性があります。
- ・ グレープフルーツジュースを飲むと、お薬による副作用が出やすくなる可能性があります。

□ 副作用とその対策

副作用は恐れるのではなく、理解を深めて、うまくコントロールすることが一番大切です！

あまり出ることはないが、特に注意が必要なもの

【**間質性肺炎**】咳がでる、息切れがする

かぜのような症状（息切れ、呼吸がしにくい、咳、発熱）が現れたときには急性肺障害、間質性肺炎の可能性がありま。生命に関わる副作用なので、異常を感じたら放置せず、速やかに連絡・受診をしてください。

比較的に出やすいもの

症状が出たら、主治医に伝えてください。

【**発疹等の皮膚の異常**】発疹、湿疹、皮膚乾燥、ざ瘡

薬の内服を開始したら発疹を予防するため、保湿クリーム等を塗り皮膚の乾燥を防いでいきます。保湿クリームは市販のものでも構いません。

洗剤で手が荒れないよう、皿洗いをする時などは手袋を装着しましょう。

足に負担がかからないよう、窮屈な靴をはかないようにする等の対応も必要です。

【**下痢**】

下痢の症状が続く場合は、水分を多めにとって脱水を防ぎましょう。

症状によっては、下痢止めを内服する場合があります。

【**爪の障害**】爪の周りの腫れ、痛みなど

保湿クリームを手・足の爪周囲に塗ることで、爪の障害を予防します。症状が出た場合は、必要に応じてステロイドという種類の軟膏などを塗り症状の軽減・改善を図ります。

【**口内炎**】

うがいをまめに行ったり、優しく歯磨きをしたりして口の中を清潔に保つよう努めましょう。

その他

- ・ 血小板減少、白血球減少など（採血により確認していきますので、ご安心ください。）

□ 保管上の注意

- ・ 直射日光を避け、室温で保管してください。
- ・ 妊婦が誤って飲むと胎児に奇形が生じる恐れがあります。他の人が誤って飲むことがないように、注意してください。

ご不明な点につきましては御気軽にお尋ねください。わたしたちがサポートします。

静岡市立清水病院 薬剤部 電話番号 054 - 336 - 1111 (代表)